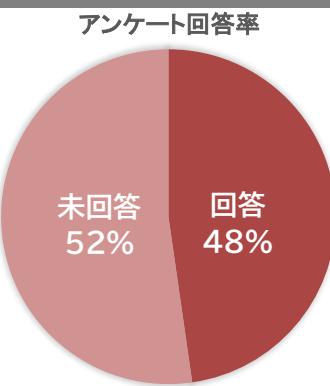


## 第2回 議会モニターアンケート結果

調査期間:R7.10.24～R7.11.17

回答総数 21名 / 44名 (回答率48%)



### 2- I.ご自身の担当する分科会の意見交換テーマ(資料1)について、自分が日常生活で感じていることを自由に記入してください。

第1分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"><li>現状、日常生活でマイライドどこでもバスを見かける機会が少ないため、個人的にはサービスを認知しにくい印象がある。特徴をもった車両デザイン(ハイカラさん等)に変更したり、SNSを使った情報発信等で、市民が知るきっかけを増やせるのではないかと思います。</li><li>1. 財政健全化：区長会要望に対する実現率が低く、使われるお金の優先順位がわかりにくい。2. 住民自治：町内会活動のあり方は役員しだいの状況がある。なりて不足と役員の負担軽減が課題。3. ICTと未来社会：IT弱者への配慮は常に必要。4. まちの拠点：追手町第2庁舎（建屋と土地）の市民の財産としての有効活用も課題。</li><li>どんなバスや、交通手段があって、日常生活でどう活用すればいいのか情報があまりなくよく分かっていなかった。利用する機会があまりない。</li><li>公共交通にバスではなく電車を使っていたので、電車のことなのですが、なぜ電車の車両が3両から2両になったのでしょうか。3両でもぎりぎりでした。雨の日はなおさらです。私は車両が減って残れなくなる可能性を感じ車登校にしました。</li></ul>
第2分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"><li>児童減少に伴う学校の小規模化は、今後、大きく加速すると思われます。学校の統廃校による通学手段の確保、遠距離通学となる児童の安全確保が重要になると感じています。加えて、廃止される学校に通学している児童は転校したのと同じ状態に置かれることがとなり、イジメの温床になる可能性もあると思います。「自分の学校がなくなる虚無感」を抱えないよう、メンタルのケアが重要なと感じています。</li><li>不登校問題で一言、学校は命を懸けてまで行くところではない。今は多くの選択肢がある。閉じこもりもその1つ。見守ることが大事と理解すべき。少子高齢化問題は、今から50年も昔から語られてきた。その時先送りが今につながっている。政策の先送り、今は待たなし。先送りなんて許されない。問題はいろいろと複雑化している。重層的支援の取組とそれに沿った組織を含め検討すべき。</li><li>義務教育学校について ①義務教育学校にした場合小学校と中学校のカリキュラムをどのように連携し9年間の組立をしていくのでしょうか。②小学校と中学校では教員免許証が異なると思うのですが、教員配置の一貫性はどうするのでしょうか。③中・高一貫であれば選択教科やクラス替え等で進路指導もしやすいかと思いますが、義務教育学校ではその点どうなるのでしょうか。素朴な疑問です。</li><li>少子高齢化が急速に進む会津若松では、教育や福祉にかかわることはとても大事なことであるが、とても幅広く難しいため、各分野での見識のある人材も求められるのではないかと思う。</li></ul>
第3分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人観光客の増加による会津の経済発展、交流人口の拡大。を頭に入れているものの、人口減少は継続している。確かに、会津の平均年齢は高い方であると思う。</li><li>会津の観光には、点と点をつなぐ「導線づくり」が欠けていると感じます。自然も文化も食も豊かですが、それぞれが独立していて、観光客が滞在しながら体験できる仕組みが少ない。京都・丹後半島では、漁業や農業、織物など地域の産業を「暮らすように旅する物語」として東ね、地域の人々が主役になって観光を動かしています。その結果、滞在日数や消費額が増え、関係人口も広がりました。会津も同じ方向を目指していくと思います。新しい施設をつくるより、既にある資源を結びつけ、「一泊二日で人と街に触れる」体験をデザインする。行政が先頭に立つのではなく、地域の小さな事業者や住民が横でつながる仕組みを支援していく。観光は「おもてなし産業」ではなく「人と人の関係づくり」。建物ではなく、人の想いが地域を動かします。これから会津は、観光客を増やすより「関わる人」を育していくまちになっていくと良いと思います。</li><li>今年は、米の価格が全国的に話題になった、地域の産業の柱、農業の振興について、話題になっても、いいと思っている。</li><li>神明通りを中心に、市内の若者向けの施設は必要か感じる。若者が集い様々な事にトライ出来るものを考えたい。国内に向けては会津に来た事がある人にも、「もう一度会津に行きたい」と思えるものが薄いか…。国外に向けては現時点の観光を歩きながら楽しめるものを清潔に保っていくべきかと思う。</li><li>神明通りに活気を感じない。お店に入りにくい雰囲気がある。若者にとって魅力のあるお店がない。個々のお店ではなくお店同士を繋げてモールにすれば入りやすくなると思う。また、個人店ではなくチェーン店を増やす必要があると思う。</li></ul>
第4分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"><li>冬に雪道を歩くのが辛い。</li><li>一軒家だと、雪掻きが無理でアパートに引っ越した老人がいた。</li><li>隣人による雪捨て場のトラブルも見受けられるが、捨てる場所がないので何ともしがたい。市に道路の雪掻きを依頼したら、現場に来た業者から「凍ってるから無理」と拒否された。</li><li>テーマが数多くあり、日常生活とどのように関連付けて考えればいいか考えがよくまとまらない。降雪対策については自宅玄関から大通りまで2本の道路計100mの通学路を毎冬除雪してきた者としては 文章を読んでもむなしさだけを感じる。</li></ul>

**2-II.前回の意見交換会に参加された方は、感想等を自由に記載してください。**

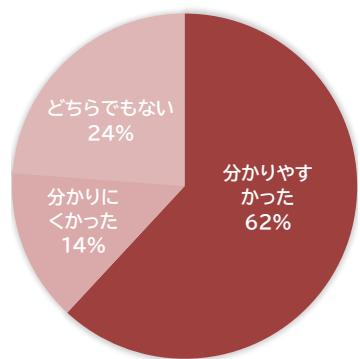
第1分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから積雪期を迎える利用者の増加も考えられるので、一時的に運行台数を増やすことができれば、サービスの認知拡大や定着を促す機会にできるのではないかでしょうか。意見交換の場はとても良い経験になりました。</li> <li>・「公共交通」に多くの時間が費やされ、他の項目に関する時間がなかった。進行に工夫が必要だったし、限られた時間内での課題共有化や具体的な解決への見通しがわからないまま終わった。もっと意義あるものにするために改善が必要と感じた。</li> </ul>
第2分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さん「新たな学校のあり方」の課題をよく認識していらっしゃいますし、またそれに対する社会的な評価もよくご存じだと思いました。学校と家庭と社会が連携し子どもの居場所づくりや不登校児童生徒を支援していくことは必要なことですし、そのための情報交換・共通認識をより広く共有することが事前の準備として大切なことです。そして、まず第一に「行動を起こすこと」だと思いました。</li> <li>・参加されている方々の意見を聞き参考になった。特に、私の知識外の学校問題については、目からうろこの感がした。特にコミュニケーションスクールに関しては、私の知識外だったので参考になった。小から大へ、大から小への取組は慎重に進めるべきでどちらも利点と欠点があるので。地域包括ケアシステムは現在のところ最良のシステムではあるが、制度は長いこと使っていると制度疲労がくる。常に新しい時代に添った人に求められる制度設計とより良いものが求められる。人口減少、少子高齢化に進む我が国我が町。短期・中期・長期に対応した施設が求められる。</li> <li>・とても良かった。</li> </ul>
第3分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い出席者の意見を大事にしようという配慮が、あちこちに見えた。過疎化した神明通りに賑わいを、取り戻そうとするのは一つのいい考えだとは思う。時間が短いようにも感じた。</li> <li>・私は学生なので、学生目線の意見しか持っていましたが、一般の方の意見を聞いて新しい視点から会津の観光や商店街の問題について考えることができました。</li> </ul>
第4分科会の取組への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>-</li> </ul>
全体への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが聞いたことに対しての返答が早く正確だったので色々聞けた。</li> <li>・私達の意見を、積極的に聞いてくださっていた気がしました。ありがとうございました。</li> <li>・まざまな分野や年代の方々が意見を出し合う場となっていた点は、とても良かったと感じます。ただ、「どう思いますか?」という問い合わせだけでは意見が散漫になります。テーマに沿った具体的な「問い合わせ」を設定することで、より深く質の高い意見が集まり、建設的な議論につながるのではないかと思います。</li> <li>・今回参加された高校生からのストレートな意見が参考になった。子育て世帯の方が意見交換会に参加出来たら街中活性化に向けた取組における改善点などもお聞きしたいと思います。</li> <li>・参加せず</li> </ul>

3-I. 中間報告は分かりやすい資料になっていましたか。以下から、該当するものを選択してください。

3-II.【問3-I】を選択した理由について、自由に記載してください。

分かりやすかった	13件	62%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究のまとめや質疑のことが書いてあるから。</li> <li>・高校生の私にも分かりやすかった</li> <li>・項目ごとに記載があるのでわかりやすい。</li> <li>・記載内容はわかりやすく整理されており、理解しやすかったです。一方で、「数値化」されている項目が少なく、どのようにして目標が達成されるのかが見えにくく感じました。自分たちの基準だけで評価しているようにも映り、少し甘さを感じてしまいます。もちろん、市政には数値化できない大切な部分も多くありますが、測定可能な項目については、具体的な目標値を設定することで、より信頼性の高い取り組みになると思います。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加出来なかつたが、内容が細かく掲載されており、読みやすかったです。</li> <li>・文字ばかりでなく、挿絵やグラフ等を多用しており、視覚的に理解しやすかったですから。</li> <li>・活性化に向けた取り組みがスタートした感がつかめた。「ローマは1日にして成らず」時間は多少かかると思うが取組が継続することが重要だと思う。</li> <li>・非常に分かりやすかった。中身の説明が丁寧に記載されていて良かった。</li> <li>・努力のあとが見られた。</li> <li>・きちんとまとまっていた。</li> </ul>
分かりにくかった	3件	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として文章表現や体裁が読みづらい印象を感じさせる。これまでの質疑内容の経緯は、いま取り組んでいる課題や成果がシンプルにまとめられていれば読んだ方も理解しやすいと思います。</li> <li>・重要な文章にはアンダーラインを引くとさらに読みやすくなると思った。</li> <li>・文字数・漢字・横文字・専門用語が多く、読むだけで大変。内容の理解まで行かなかった。</li> </ul>
どちらでもない	5件	24%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提起はあるが、解決に向けた議会としての提案が抽象的。</li> <li>・見やすかったところもあれば、そうでないところもありました。</li> <li>・3つのテーマは、昔からの課題であり、もう答えの出ているものもあるのかと感じている。</li> <li>・聞き慣れない言葉が多くて理解しにくい部分がありました。</li> <li>・区切られたり、枠で囲われたり、図があつたりと見やすくわかりやすかったです。ですが、文字量があるので、一部箇条書きでしたが、全てそれでもいいと思います。専門用語が多く、内容理解に時間がかかるため、できればかっこなどで意味を簡単に書いて欲しいです。どれだけ改善できるのか、いつまでなのかがわかりにくいです。</li> </ul>

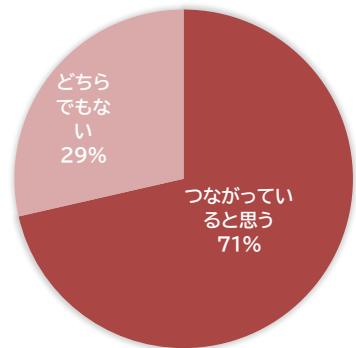
中間報告の分かりやすさ



3-III.中間報告にある調査・研究内容は、市民生活の改善や市民サービスの向上につながっていると思いますか。以下から、該当するものを選択してください。

3-IV.【問3-III】を選択した理由について、自由に記載してください。

			中間報告にある調査・研究内容は、市民生活の改善や市民サービスの向上につながっていると思うか
つながっていると思う	15件	71%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どういう状況なのかわかるから。</li> <li>・ コミュニティ交通などサービスの改善が分かりやすいものとそうでないものがあり、報告にあるまとめや今後の方向性で示した内容が読み解きづらいテーマもあった。</li> <li>・ 私たちの生活を豊かにしてくれると感じた</li> <li>・ 色々な分野から、気になることを考えていただき、まとめてあったから。</li> <li>・ 研究内容や仮説の方向性には共感する部分が多く、全体としてつながりを感じます。 ただ一方で、本質から少しずれているように感じる点もあり、より現場の実情や根本的な課題に焦点を当てた議論が求められるのではないかと思います。</li> <li>・ 対策や調査研究について良くまとまると思ったから。</li> <li>・ 何事においても、深掘りすることは大切であり、無駄になることは一つもないと思います。</li> <li>・ 調査に元づき、結果に載るまで、わかりやすく良かった。</li> <li>・ 議員の皆様の件さんのあとが大変よくわかります。より一層の努力を望みます。</li> <li>・ 周囲の高齢者から介護についてのお話を聞く機会があり、デイサービスに行くのは楽しいとよく聞きます。ただ介護をする職員からは業務内容が多く報酬が少ないとの話も耳にするので、今後安心して職務に就けるような経済的基盤を援助するのも大切だと思います。</li> <li>・ 一人ひとりの議員さん達が集める情報には限りがある可能性があるので、一般の人が意見を言い合う場があり、それが市政にはんせいされることはとても良いことであり、それが市民生活の改善にもつながると思われます。</li> </ul>
どちらでもない	6件	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3-Ⅱと同じ（課題の提起はあるが、解決に向けた議会としての提案が抽象的）。</li> <li>・ 市民生活の改善には、直接は関わらないが、長い目で見ると、関わってるものだと思う。</li> <li>・ 判断が難しいため</li> <li>・ 市民に対しての認知度は物足りないものを感じる。地域のコミュニティを活用し広めていけたらと思う。</li> <li>・ 内容が多く、繋がっていると思いたいがなんとも言えない。</li> <li>・ 方向性は良いと思うのですが、住民にそれがちゃんと伝わっているのか、伝わるのかが気がかりです。行財政改革を、「市民の生活を今より便利で安心にすること」など、わかりやすくしてみるのはどうでしょうか。</li> </ul>



4-I.今までの議会モニターの活動を通して、どのくらい議会活動の内容が分かりましたか。以下から、該当するものを選択してください。

4-II.問【4-I】を選択した理由について、自由に記載してください。

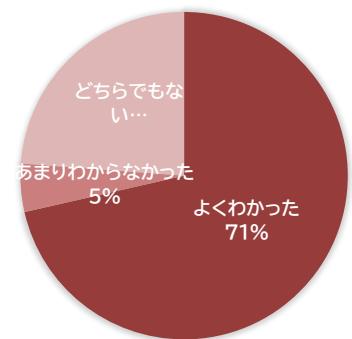
- ・特に分かったこと、政策サイクルを活動の中心に据え、積極的に取り組んでいることが特徴であること。分からなかったこと、議会評価の運用と効果。
- ・紙面でも口頭でも説明があるため
- ・直接、分からぬところを聞けて、お答えしていただけたため。
- ・議会のパンフレットは、議会を理解するのに、役だった。
- ・YouTubeなども活用し、私たちに内容を観せるような活動や、細やかな議題まで、工夫がされている事がわかった。
- ・中間報告や意見交換によって、議会活動が何をやって、何を問題視して、どういう対策を考えているのかよく分かったから。
- ・資料提供、YouTube等による映像により、情報発信された頻度が高いと感じたから。
- ・議長様はじめ、委員の方々が真摯に向き合い対応される様子がわかった。
- ・全体的には内容が多すぎてすべてをわかるのは無理に感じたが、住民自治（公共交通）については具体例が多く、身近に感じる点もあり、様子がわかった気がする。除雪は、毎年の会津若松市内の道路状況では限界があり、解消するには、融雪装置を、何年かかろうと主要道路始め、全てに工事（装置）以外ないと考える。
- ・議会モニターをして議会が市民に対して多方面から意見を吸い上げようとしていることが理解できました。
- ・モニターになったことによって、自分は知りたいことを質問したり、他の人の質問やそれに対応する回答を聞くことができ、市政を今までより知る機会ができたと思う。

議会モニターの活動を通して、  
どのくらい議会の活動内容が  
分かったか

よくわかった

15件

71%



あまりわからな  
かった

1件

5%

-

どちらでもない

5件

24%

- ・どうすればより良い環境をつくれるかをかんがえている
- ・議会活動について「わかった」が、「よくわかった」まではいかない。
- ・漠然と「良くしたい」と思うだけではなく、5年後・10年後の会津の未来像を見据えながら、今このまちがどうあるべきかを共に考えたいと思います。将来の姿から逆算して、今の一歩をどう踏み出すか。その視点を議論の軸にしていただきたいです。
- ・キャッシュレス化で手続きを簡単にできる。公共交通の利便性の向上は理解しました。効率化で浮くお金と時間を何に使うのかがあまり理解できません。

#### 4-III.今までのモニター活動(活動内容や頻度、意見交換会の開催時間など)を通して、良かったと思うことや改善点などを自由に記入してください。

##### ●活動内容に対し

###### ○議会モニター制度へのご意見

- ・議会活動を市民にもっと知らせる為にモニター人員をもっと増やす。
- ・もっと活動に参加できる様に思えるやり方があるのではないか、それが何かはわからないが、このままでは私にはムリと思う。

・モニター活動は、市民の声を聴く場として意義がある一方で、議員の意見を市民がどう受け止めるかという観点も必要だと思います。市民の意見をただ反映するだけでは、必ずしも良い施策にはつながりません。企業の例でも同様で、「お客様の声」をそのまま取り入れるだけでは良い商品は生まれない。大切なのは、市民の声をどう整理し、専門的な観点や議員の知見とどう掛け合わせていくか。そのプロセスこそが、市政の質を高める鍵だと思います。また、他の分科会にも意見を出せる機会（このアンケートのような形）があっても良いのかなと感じます。受動的にみていたが、能動的に動きながらみること、他と比較することとかできた。参加しやすい場所づくり、気軽に話せる仲間づくり。

###### ○議会活動への意見

- ・これまで関わりが無いと思っていた議会の活動に触れ、多岐にわたる取組内容が今後どのように進んでいくか興味を持てたので、とても良い機会を頂けたと思う。

- ・議員が多く時間を使って活動していることがわかった。
- ・現在の議会活動について、自らの改善点や改善方向などを示す。
- ・議員と直接議論できること
- ・いろんな人の考えを聞けるので楽しい

・議会の仕事、市の様々な決まり事は地道にしっかり話し合って決まっているということが分かりました。そのことを、市民が理解して、意見をたくさん出して、いい循環になる市作りができればいいなと思いました。

##### ●開催日時に対し

- ・だいたい午前中に行って頂けるため午後の時間を自由に使っているから良いと思う。
- ・開催から併催までの予定がスムーズに進むのが良いと感じた。
- ・分科会に分かれ意見交換をしているが、最後に要約でもいいので各分科会の成果をお聞きしたいと思った。休日の時間を使っているので、少し物足りなさを感じた。
- ・時間についてですが、分科会の時間がもう少し長かったらと良かったと思います。意見が深まったころ時間がなくなってしまいました。
- ・あまり何回もあるとモニターの人達も大変だと思うが、出欠を問わないという形で回数を増やせば一度欠席しても別の日に話ができるのではないかと思う。
- ・意見交換全体時間の中で説明時間の割合が長いので短くし、モニターの疑問・質問・意見の時間を増やす。全体時間を増やす。

## 5- I .市民が参加しやすいまちづくりをするためには、何が重要だと考えますか。自由に記入してください。

- ・いわゆる「会議」への参加のみでなく、各種セミナー及びイベント等への参加を通じて、市政への関心を持たせることが重要だと思います。
- ・参加のハードルを下げることと若年層を取り込んでいくことが重要かと考えます。多様な参加方法（オンライン、子育て世代向け時間帯、テーマ別など）を設定して、幅広い層の参加促進によって地域の活性化にもつなげていければよいと思います。
- ・一番は、市民が市は何をしたいのかを理解することだと思います。一般の人でもわかるような説明をすることが重要だと思います。
- ・市政だよりにこんなことが書いてあったと人に話をしても、読んでいないという人が多く残念に思う事がある。議会の様子をQRコードを使ってみることができるがわからなかったり、全く興味のない人がいるのが残念に思う。もっと市政に興味をもってもらうような工夫をして欲しい。
- ・この議会モニターもまちづくりの重要な仕事の1つと思うが、この文章量と内容にはついてゆけない気がする。普段から大量の文章を読みなれている市民がどれだけいるか、モニターとして何とか努力したいと考えているが、今回私には無理のような気がしてきた。こんな様にかんじさせないで協力してゆける様にしてゆくことがまちづくりには重要と思う。
- ・女子の参加、参加しやすい条件の検討。市民の意識改革、全てにおいてすべての人に分かりやすい説明。関係する当事者の参加。特に障がい者問題を検討する場合は当事者の参加、高齢者問題の時は高齢者という具合に。
- ・家と会社の往復になっている方が多いと感じます。市民がまちづくりに参加しやすくするために大切なのは、「声を出しやすい空気」と「参加したくなる仕組み」の両方だと感じます。制度を整えるだけでは行動は変わらず、気軽に意見を言える雰囲気と、関わった実感を得られる体験が必要だと思います。たとえば行政が一方的に説明する場ではなく、「小さなアイデアでも歓迎される対話の場」を増やすこと。SNSやイベントなど、日常の中で意見を共有できる場をつくること。そして「自分の意見が反映された」と感じられる仕組みを整えることが大事だと感じます。青森県弘前市の「市民参加型まちづくり1%システム」は、市民の提案に予算を充てる好例で、住民の主体的な動きを生み出していると思います。まちづくりは一部の人の活動ではなく、暮らす人すべての物語だと思います。会津の温かさをいかし、「関わることが楽しい」と感じられる流れを育てていけるといいなと思います。
- ・市民が会津に興味を持ち、より良くしたいと思う気持ちが必要だと改めて感じた。議員の皆さんの中量があまり響かないことを残念に思う。日本人は集団で生きる上、長いものに巻かれ、自身で考える力が乏しい。もっと一人一人考えていくべきだし、今回のようなうやうやう場が増えることを願っています。
- ・情報の見える化とわかりやすさがポイント、高齢者の多い街特有の情報作り（小さな単位の自治活動サポート）、公民館・図書館など公共施設を活用した集いの場のケカフェスペース形式の対話会、意見を出した！後のフィードバックが重要（意見の見える化）、高校生による「街の課題発見！！」プロジェクト
- ・市民の意見（疑問・要望・過去からの反省等）を広く聞く場をつくることだと思います。例えば、背炙り山に風力発電が何十機も立つというのは本当なのだろうか。全国的にメガソーラー建設が問題視されているなか、会津の自然を後世に残すのは市民の義務ではないか？子ども食堂はどうして8割が寄付に頼っているのだろうか。子どもの居場づくり・不登校等の問題を「学校・家庭・地域との協働で」と言うのであれば、子ども食堂をもう少し援助し、また子ども食堂から学ぶことが多々あるのではないか？2月の豪雪はなぜ除雪がスムーズに行われなかったのだろうか。
- ・若松市内が一番遅れて除雪されたような気がする。また、歩道に車道からの雪が積み上げられ、歩行者が車道を歩かざるを得なかつたし、第一に小・中・高・生の登下校が危険だった。などなど、思いついたことだけですが、目立たない市民一人一人にも疑問や不満が多くあります。そういう所に目を向けて、意見交換の場とか、目安箱のようなもの設置するとかで市政への参加を呼びかけてほいかがでしょうか。
- ・自分の地域をみること、考えること。
- ・役所ではどのように働きかけているのかを伝えられれば良いと思う。
- ・住みやすい環境にすること
- ・昨年実施した市区長会による502人の区長アンケートで、区長の悩みが多岐にわたっていることがわかる。議員と区長との懇談会などで、ぜひ課題を共有して欲しい。
- ・自分達で街を作ることができるんだということを、実感すること。
- ・上を柔らかくする。
- ・宣伝を多くする。
- ・要望に対処するスピードと信頼性

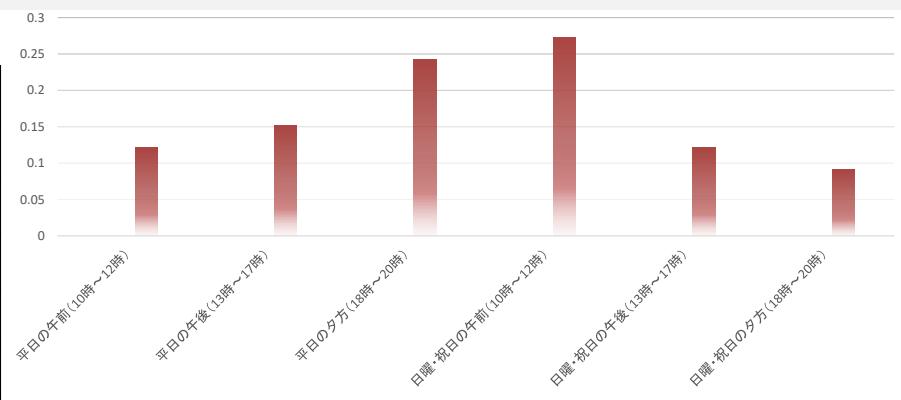
6-I 市議会では、福祉、教育、産業など市政の分野別について、関連団体等との意見交換や、専門家によるセミナーを開催しています。この意見交換会やセミナーを傍聴し、議員と意見交換することについて、以下から該当するものを選択してください。【複数選択可】

傍聴のみであれば参加したい	3件	10%
日程が合えば参加したい	14件	48%
興味のある分野であれば参加したい	12件	41%



6-II.【問6-I】の意見交換会等へ参加しやすい日時について、該当するものを以下から選択してください。【複数選択可】

平日の午前（10時～12時）	4件	12%
平日の午後（13時～17時）	5件	15%
平日の夕方（18時～20時）	8件	24%
日曜・祝日の午前（10時～12時）	9件	27%
日曜・祝日の午後（13時～17時）	4件	12%
日曜・祝日の夕方（18時～20時）	3件	9%



以上